

ゼロから始めるGRE ～大学院留学にむけて～

総合図書館LSセミナー 留学・語学シリーズ
ラーニングコモンズLS 納田泰成

2019/2/7

セミナーの概要と目標

■ 対象者

- 大学院留学に興味がある
- GREを聞いたことがあるけど何かはわからない
- GRE General Testを将来受験するかもしれない
- GREを勉強したいけど何から始めていいかわからない

■ 免責事項!

- 今日のセミナーではGRE General Testしか扱いません。Subject Testはカバーしません
- 今日のセミナーではPaper-delivered testは扱いません
- 個人的見解や憶測、根拠が薄い内容も含んでいます

ゼロから始めるGRE対策 アウトライン

- GREが何かを知る
 - GRE : 5W1H
- GREで出題される問題を知る
 - 各科目の概要と対策
- 対策のためのツール

GRE : 5W1H

- Why? (何のための試験)
- What? (試験内容/スコア)
- When? (いつ受けられる?/試験時間の長さ)
- Who? (だれが作っているか/だれが受けるか)
- Where? (テストセンター)
- How? (受験申込方法/テスト当日の流れ)

GRE: Why?

■ 大学院プログラムの入学審査で必要

- アメリカではほとんどの大学院プログラムへの入学に必要な
 - ただし、専門職学位は除く C.f. GMAT
- 近年ではヨーロッパ諸国、オーストラリアでの大学院プログラムでも必要になってきている様子
 - 分野による（かも）

注1. GREは2011年8月に大幅に改定された。参考書や問題集を探すときには要注意

注2. 毎年少しずつ修正されているそうです

GRE: What? (Test Content)

- Verbal Reasoning (Verbal)
 - Text Completion (空欄補充)
 - Sentence Equivalence (類語問題)
 - Reading Comprehension (読解問題)
- Quantitative Reasoning (Quant)
 - Quantitative Comparison (数値比較)
 - Problem Solving (代数学, 算数, などなど)
- Analytical Writing Assessment (AWA)
 - Issue Task
 - Argument Task

GRE: What? (Scoring)

■ 共通

- 点数と相対評価（下位何%に位置するか）がつけられる
- Verbal & Quant
 - 130 – 170 の間で点数がつけられる
 - だいたい1問正解するごとに130から1点ずつ上がっていくと考えられる*
（注）ほかの受験者の出来によって正解数から微調整されて最終得点になる
- AWA
 - 0 – 6 の間で点数がつけられる
 - 0.5単位（IELTSに似ている）

GRE: When? (試験日程)

- 21日に1回だけ受けられる
- 1年で5回まで受けられる
- 週に2~4回開催されている (試験会場による)
 - 週末は満席になりやすい
 - とはいっても、TOEFLほど早く埋まるわけではない (個人的見解)
- AWA以外は試験直後にスコアが表示される

GRE: When? (試験日程)

GRE: 5W1H

Find Test Centers and Dates

GRE General Test | Osaka Prefecture, 日本 | February 2019 - March 2019

[View Your Accommodations](#)

[Change search criteria](#)

By Date

By Distance

Refine Search Results

February 2019

Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

March 2019

Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

Seats available No Seats available Selected Date

地図

航空写真



引用 : ETS GRE Find Test Centers and Dates

https://ereg.ets.org/ereg/public/workflowmanager/schlWorkflow?_p=GR1

GRE: Who?

- 受験者：**全世界**の大学院進学希望者
 - Native Speakerも含まれる
 - GREは相対評価(; ∇ ;)
- 試験実施機関: ETS
 - TOEFLと同じ会社
 - Writingの問題は一部似ている

GRE: Where?

- 試験会場：東京, 神奈川, 大阪のテストセンター
- 大阪会場
 - 中津テストセンター
- 関西（というか西日本）には大阪の中津会場しかない

GRE: How? (受験申込方法)

GRE: 5W1H

- ETSのGREのホームページから申し込みが可能
- GRE専用のアカウントを作る必要がある(TOEFLのアカウントは使えない)
- テスト料金は195USD クレジットカードか郵便
- 朝の部(9時スタート)と昼の部(13時スタート)がある
 - 朝の部のほうが空いている (気がする)
- 空席がある限りは申し込みが可能(要確認)
- 4日前まではキャンセルできる、ただしキャンセル料として受験料の半額がかかる



- (注1) Verbal, Quantitativeの順番は毎回ランダム。ただし最初は必ずAWA
- (注2) 各セッションの間には60秒間の休憩がある
- (注3) 計5セッションあるVerbal, Quantitativeのうち1つは採点されない
- (注4) Verbal, Quantそれぞれ2セッション目は前のセッションの出来によって難易度が変わる

AWA: 概要

■ AWA = Analytical Writing Assessmentの略

■ 2つのパートに分かれており、それぞれ30分

1. Issue Task

- ある主張が与えられ、それに賛成か反対かを述べる
 - TOEFLのWritingに近い
 - ただ、お題がかなり抽象的

2. Argument Task

- ある主張と根拠が与えられ、その主張の論理の穴を指摘する

■ TOEFLとは違い、字数制限はない

- アメリカのGRE予備校(crunch prep)の見解では字数とスコアには相関がある
 - <https://crunchprep.com/gre/2014/gre-essay-length>
- Body Paragraphを2つから3つに増やすと3.5に増えた（相関は不明）

AWA Pool of Topics

■ETSのページに当日出題される問題が全て公開されている

- [Issue Task](#)

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/analytical_writing/issue/pool

- [Argument Task](#)

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/analytical_writing/argument/pool

AWA 例題 Issue Task

各科目の概要

都合により割愛

引用: ETS GRE Pool of Issue Topics

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/analytical_writing/issue/pool

AWA Issue Task Scoring Guide

- 採点基準はHPで公開されている。

- https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/analytical_writing/issue/scoring_guide

Score 4 Adequate

In addressing the specific task directions, a 4 response presents a competent analysis of the issue and conveys meaning with acceptable clarity.

A typical response in this category:

- presents a clear position on the issue in accordance with the assigned task
- develops the position with relevant reasons and/or examples
- is adequately focused and organized
- demonstrates sufficient control of language to express ideas with acceptable clarity
- generally demonstrates control of the conventions of standard written English, but may have some errors

AWA Argument Task Scoring Guide

各科目の概要

都合により割愛

引用: ETS GRE Pool of Issue Topics

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/analytical_writing/issue/pool

AWA Argument Task Scoring Guide

- 採点基準はHPで公開されている。

- https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/analytical_writing/argument/scoring_guide

■ Score 4 Adequate

In addressing the specific task directions, a 4 response presents a competent examination of the argument and conveys meaning with acceptable clarity.

A typical response in this category:

- identifies and examines aspects of the argument relevant to the assigned task, but may also discuss some extraneous points
- develops and organizes ideas satisfactorily, but may not connect them with transitions
- supports its main points adequately, but may be uneven in its support
- demonstrates sufficient control of language to convey ideas with reasonable clarity
- generally demonstrates control of the conventions of standard written English, but may have some errors

AWA どう対策するか？

■ ISSUE

- 問題をできるだけ多く解く
- 全文書がなくても論理構成を考えるだけでもトレーニングになる
- よく出るお題（例 教育, 科学技術）については例を複数考えておく

■ Argument

- 反論のパターンを複数しておく
 - 誤った類推(A国でXが効果的だったからB国でもXを導入すべき)
 - 時間の経過を考慮していない(1990年政策Aは機能したので今もやるべき)
 - 考慮できない要因(A学校出身者は年収が高いのでA学校の授業は評価するべき)
 - アンケート調査の実施方法が怪しい
- それぞれの論理展開に合わせてテンプレートを用意しておく
- テンプレート化しやすいのでArgumentが対策しやすい？

Quantitative: 概要

- 数学のテスト, 日本では中学~高校で習う内容がほとんど
- 35分で20問
 - 1問あたり105秒
- 問われる分野はだいたい以下の4種
 - Arithmetic (算数): 例. 素数, 公倍数, 公約数, 指数計算など
 - Algebra (代数学)
 - Geometry (図形)
 - Data Analysis (図表問題, 統計)

Quantitative: 概要

- 問題のタイプによって5つに分類できる
 - Quantitative Comparison
 - 数量比較
 - 2つの数量のどちらが大きいか, 小さいか, 等しいか, 与えられた情報からは判断できないか, を選択する
 - 全体の40%くらい
 - Multiple Choice
 - 選択肢を選ぶ
 - 答えを複数選ぶものもある
 - Numeric Entry
 - 数値を直接打ち込む
 - Data Interpretation Set
 - 図表読み取り問題
 - 1つの図表に問題が3~4問あることが多い

Quantitative 例題: Quantitative Comparison

各科目の概要

都合により割愛

ETS GRE HPから抜粋

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/

Quantitative 例題: Quantitative Comparison

各科目の概要

都合により割愛

ETS GRE HPから抜粋

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/

Quantitative 例題: Multiple Choice

各科目の概要

都合により割愛

ETS GRE HPから抜粋

<https://www.ets.org/gre/revise/general/prepare/>

Quantitative 例題:Multiple Choice ②

各科目の概要

都合により割愛

ETS GRE HPから抜粋

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/

Quantitative 例題: Numeric Entry

各科目の概要

都合により割愛

ETS GRE HPから抜粋

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/

Quantitative 例題: Data Interpretation

各科目の概要

都合により割愛

ETS GRE HPから抜粋

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/

Quantitative どう対策するか？

- まずはQuantitativeで出てくる数学特有の英語を覚える
 - 「**大学院留学GREテスト学習法と解法テクニック / アゴス・ジャパン著**」のp.271-282に数学ボキャブラリーリストがある
- 時間配分がポイント, 演習を重ねて自分(+自分の目標スコア)にあった時間配分戦略を立てる
 - 例. 私が立てたルール(目標スコア:170)
 - 3分で2問解く
 - 3分経過して解き終わってない問題があればすぐに飛ばす
 - 1分で方針が立たなければmarkをつけて飛ばす
 - 残った5分で解けなかった問題を解く+見直しをする
- 演習を繰り返し, 自分が間違いやすい問題のパターンを把握

Verbal: 概要

- 語彙読解のテスト: 空欄補充, 読解の問題
- 30分で20問
 - 1問1分半
 - 読解問題があることを考えるとシビア
- 問題のタイプは以下の通り
 - Text Completion (空欄補充, 最初の5~6問)
 - Sentence Equivalence (空欄補充 –空欄に入る類語の組を選ぶ, 10問目あたりから4,5問)
 - Reading Comprehension (読解, 10問程度. 文章の長さは様々)
 - Paragraph Argument (筆者の主張を批判/支持する根拠, あるいは筆者が暗黙に置いている仮定を選ぶ, 1~2問)

Verbal: 概要

- 問題の順番はほぼ固定されている
 - Text Completion (7問)
 - Single Blank 2問
 - Double Blanks 2~3問
 - Triple Blanks 2~3問
 - Reading Comprehension (4~5問)
 - 長い文章題1問か短い文章が2問
 - Sentence Equivalence (4問)
 - Reading Comprehension (4~5問)

Verbal 例題: Text Completion ①

各科目の概要

都合により割愛

ETS GRE HPから抜粋

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/

Verbal 例題: Text Completion ②

各科目の概要

都合により割愛

ETS GRE HPから抜粋

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/

Verbal 例題: Text Completion ③

各科目の概要

都合により割愛

ETS GRE HPから抜粋

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/

Verbal 例題: Sentence Equivalence

各科目の概要

都合により割愛

ETS GRE HPから抜粋

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/

Verbal 例題: Paragraph Argument

各科目の概要

都合により割愛

ETS GRE HPから抜粋

https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/

Verbalどう対策するか？

■ まず、何点を狙うか？を定める

- 私の場合: 150点.
 - 経済は足切りに使われるけれどそれほど重要視されないと聞いたため

■ 単語力の底上げはマスト！

- ただし、試験に出てくる単語をすべてカバーしようというのは無茶
- よく出る単語をある程度覚えたら問題演習をしながら語彙を増やすのが得策
- 類語,対義語でグルーピングして覚えるのがおすすめ
 - Verbalの出題形式を考えるとこれが効率的だと思われる

■ 時間配分を決める

- 読解/語彙のどちらを得点源にするか？
- 語彙の難しい問題(3つの空欄補充)は初めから捨てるのも一手

対策のためのツール

対策ツール

- PC上で受験することになるため、PCでの演習がおすすめ
- まずはテスト運営をしているETS社のものから始めよう
 - **ETS GRE “Prepare for the Test”**
 - https://www.ets.org/gre/revised_general/prepare/?WT.ac=gre_prepare_170731
 - 公式HP. 試験情報や演習問題が掲載されている。無料。
 - **The Official Guide to the GRE Revised General Test**
 - 公式ガイドブック. ほとんどの内容が公式HPにアップされている。¥6,338(Amazon)
 - **POWERPREP® Practice Tests**
 - GREのアカウントを作れば無料で受けられる模試. 2セット受験可能
 - **Official GRE Quantitative Reasoning Practice Questions**
 - Quantitativeで高得点(166以上)が必要な方向け. ハイレベルな演習問題

対策のためのツール

対策ツール

■ Magoosh(<https://gre.magoosh.com/>)

- 6か月\$149
- 250のレッスン, 1200問の演習問題
- ライティング添削サービスはなし
- 無料で読めるブログも有用 (Magoosh GRE Blogで検索)

■ Manhattan Prep(<https://www.manhattanprep.com/gre/prep>)

- 6か月\$399
- 100,000の演習問題
- 6回分模試が受けられる
 - 1回分はアカウント登録すれば無料で受けられる
- Manhattan社出版の参考書を買えばオンライン演習問題へのアクセスコードが入手できる

対策のためのツール

■ 語彙強化のために有用だったもの

- **500 Essential Words (Manhattan Prep GRE Strategy Guides)**

- 単語カード. 類語, 対義語, 例文, 語源が載っているので便利
- 500 Advanced Wordsもある
- 各¥2,405

■ GRE専用のサービスではないが便利だったもの

- **Quizlet.com**

- オンラインで自分専用の単語カードを作成できるサービス
- 覚えたい英単語を入力すると単語の意味を自動で入力してくれる機能もある

- **Vocabulary.com**

- 単語の意味を調べるときに便利
- 一度調べた単語をwordlistに登録しておくと, 次回ログイン時にテストしてくれる

対策のためのツール

■ 最初の一歩

- **大学院留学GREテスト学習法と解法テクニック / アゴス・ジャパン著**
 - テストの概要, 演習問題が載っている
 - 難易度は本番よりやや簡単
 - 図書館でも借りられる！！

ゼロから始めるGRE対策 まとめ

- GREのことを知る
 - 試験は長丁場. リハーサルを入念に.
- GREで出題される問題を知る
 - どの科目も時間制限が厳しい
 - 目標スコアを決めておくことが肝要
 - AWA
 - 出題されるお題に予め目を通して論理展開を用意しておく
 - Quant
 - 演習を重ねて弱点を一つ一つつぶしていく
 - Verbal
 - 単語はグループで覚える
- 対策のためのツール
 - ETS社のものから始めよう